

## 人材委員会及び科学技術人材多様化WGにおける技術士に関する主な意見

## I. 人材委員会における技術士に関する主な意見（第 110 回人材委員会資料 1-1 より抜粋）

## 【研究開発マネジメント人材・技術者関係】

- URA や技術職員、技術士といったところに関する情報として、技術士の資格を持った研究者の数であったり、技術士の資格を持って民間企業で活躍している人であったりはデータがあると思うが、JABEE 認定を受けた大学が結果として大学にメリットとしてどう返ってきているのか、フォローアップが必要。
- 現状、どこにどの程度グローバルに活躍できるエンジニアがいるのか、それをふまえて大学の技術職員だけではなく、民間企業も含めた技術者をどう育成するか、技術士制度とうまく組み合わせながらの展開が必要。

（技術職員・技術士）

- 技術士についてもどのような活躍をしているのか、どのようなスキルが必要なのかに関して、見える化を図っていく必要がある。
- AI 時代において、技術士が従来の専門性を生かすために AI を活用する等、生成 AI や DX の視点で技術士制度について検討することが必要。

## II. 人材委員会における技術士に関する主な意見（第 110 回人材委員会資料 1-3 より抜粋）

## 3. 第 2 回科学技術人材多様化ワーキング・グループ（令和 7 年 5 月 30 日）における主な意見

## 【技術者関係】

（「技術者」について）

- 技術者を捉える際には、技術士制度におけるプロフェッショナルコンピテンシー 8 項目を前提にすると良いのではないか。

## 4. 第 1 回科学技術人材多様化ワーキング・グループ（令和 7 年 5 月 13 日）における主な意見

## 【技術者関係】

（「技術者」について）

- 技術職員は医学系や理学系の出身者が多く、技術士は工学系の出身者が多い。また、JABEE 認定についても工学系が多い等、特定の分野に厚みがあることに留意し、対応策を検討することが必要。

(技術職員について)

- 技術職員の関わる領域が多岐に渡っており、それをどのように接続するのかを検討することが必要。また、技術士の高度な専門性の領域と技術職員の専門性の領域をうまくつなげられるように整理できると、技術職員のキャリアパスが具体化・可視化されるのではないか。

(技術士について)

- 技術士の資格試験は難易度が高いと思われる中で、制度の活用促進を図るためには、インセンティブが見えるようにしていくこと、自立した技術者をリスペクトしていく社会の雰囲気醸成が必要。
- 技術士資格を取得することのメリットが薄れてきているため、インセンティブの確立や資格取得の入り口を下げる等の工夫が必要ではないか。